

一級河川鳴瀬川水系 南川 南川ダムの効果(令和4年7月12~14日)【速報】

宮城県

○南川ダムでは、令和4年7月12日から令和4年7月14日に、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が214mm,最大時間雨量では25mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画460m³/sに対し、**77.08m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の98.8%(76.14m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



南川ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	13日 8時 0分	終了	13日 19時 40分
・ダム流域累計雨量	214 mm	(12日 22時 ~ 14日 6時)	
・最大時間雨量	25 mm	(13日 11時 ~ 13日 12時)	
・ダムへの最大流入量	77.08 m ³ /s	(13日 13時 20分)	(12位/85洪水)
・最大流入時の放流量	0.94 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	76.14 m ³ /s	(約 98.8%)	

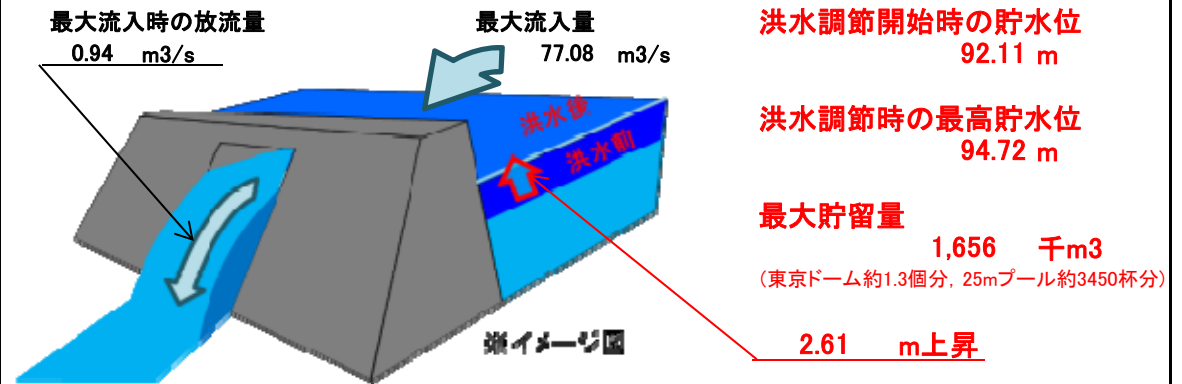
ダムの状況写真



貯水位 EL 94.80m
洪水後 (7月14日11時00分)

南川ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **98.8%** をダムに貯留しました。



○南川ダムの洪水調節等により、吉田川の落合地点で、**水位を約1.57m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真

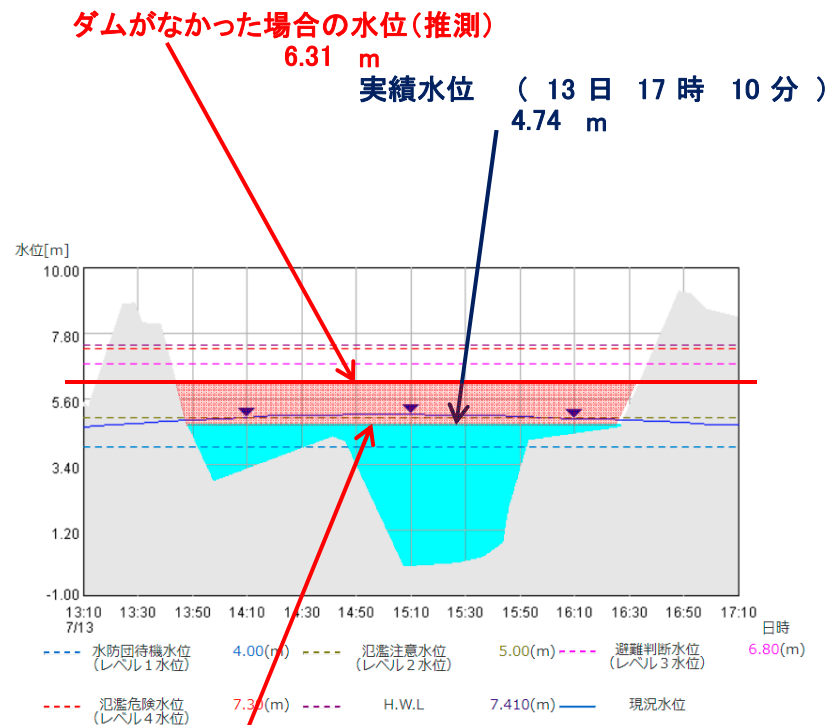


吉田川(魚板橋上流)(洪水後7月14日10時00分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)



吉田川(魚板橋上流)(洪水後7月14日10時00分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)

吉田川(落合地点)の水位低減効果



ダムにより約1.57mの
水位低減効果を推測